

令和6年度 部活動指導全体計画及び規定

1 目的

- (1) 体育的・文化的な活動を通して、体力や運動技能の向上及び豊かな情操を身につける。
- (2) 生徒と教師、生徒相互の望ましい人間関係を育てると共に、集団の中で決まりを守り、協力し合い、責任の持てる態度を育成する。
- (3) 能力の開発と個性の伸長を図り、士気を高揚させ、明るく活気ある学校生活を送れるようにさせる。
- (4) 対外試合等の諸活動を通して、母校の名誉を尊び、学校を愛する精神を育てる。

2 方針

- (1) 教育目標具現の場として、全員参加を原則とし、全職員を持って指導にあたる。
- (2) 保護者や地域に部活動の趣旨を知らせ、理解と協力を得る。

3 設置部

- (1) 文化部……吹奏楽、美術、英語
- (2) 運動部……軟式野球(男女)、柔道(男女)、ソフトボール(女)、バスケットボール(女)、卓球(男女)、バレーボール(男女)、剣道(男女)、陸上競技(男女)

※休 部……令和5年度よりサッカー

- (3) 特設部……陸上競技、駅伝、水泳

4 活動時間・休養日・テスト期間・対外活動・長期休業日

- (1) 活動は、4月～9月は、平日の放課後から午後6時15分までとする。
午後6時30分までに完全下校させる。
10月は、平日の放課後から午後5時45分までとする。
午後6時00分までに完全下校させる。
11月～3月は、平日の放課後から午後5時15分までとする。
午後5時30分までに完全下校させる。
- (2) 原則として練習時間は、平日上限2時間程度、土日、休日は上限3時間程度とする。(ただし、練習試合・大会はこの限りではない。)また、平日のうち1日と土日、休日が連続する場合はそのいずれかを休養日とする。土・日・休日の活動は教頭に事前報告する。
- (3) 中間テスト3日前、期末テスト5日前から活動を休止する。
- (4) 対外試合や校外活動を行う時は、活動計画(別様式)を作成し、校長の了解を得る。
- (5) 長期休業期間中は、原則土日は活動を行わない。また、同期間の平日は、対外試合や校外活動を行わない。

5 入部・転部・休部について

- (1) 入部・転部
 - ① 入部決定は4月中とする。(1学年は決定後、1週間の猶予を与え弾力的に考える)
 - ② 入部期間は単年度とする。
 - ③ 年間途中での転部は認める。ただし、転部手続きをきちんととること。
- (2) 休部
 - ① 2年連続で新入部員がいない場合は、中体連大会後に休部とする。
 - ② 個人戦がある部活動については、柔軟な対応をする。

6 指導上の留意点

- ◎ 科学的理論に基づいた指導を行うこととし、体罰や暴言、不適切な指導は厳に禁ずる。
- (1) 活動時間を厳守し、顧問教師の指導の下、けが等の防止に心がけ、安全に活動させる。
 - (2) 帰りの学活終了後は、活動場所に自分の荷物を持って移動させる。原則として移動後は、校舎内に入らないようにさせる。
 - (3) 体育館への移動は体育館外出入口からとする。
 - (4) 活動終了後は、用具等の整理整頓、戸締まりをし、活動場所の清掃を行わせる。
 - (5) 保護者との連携を密にし、身体状況や帰宅時間等の共通理解を図っておく。
 - (6) 練習計画を立て、活動時間や内容、運動量など活動が負担過重にならないようにする。